

学校自己評価とは

教職員が、授業や教育活動、学校運営などの状況について自ら評価し、その結果をもとに改善を行い「よりよい学校づくり」を進めるために行う活動です。その結果を保護者の皆様にお知らせすることにしました。ご覧いただき、本校への理解を深めていただければ幸いです。

学校教育目標

- 学ぶ力のある子
- 心の豊かな子
- たくましく生きる子

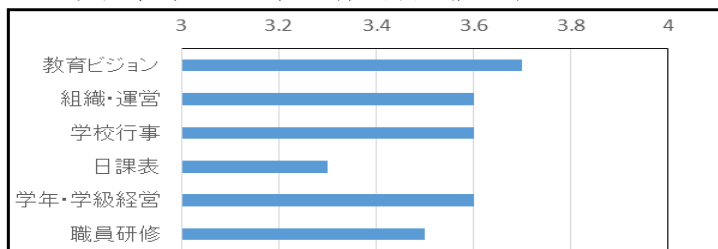
評価方法 1：教職員が4段階で自己評価（4・3・2・1）したものを平均化して判定
2：総合評価の判定基準 A（3.3以上） B（3.2～2.8）
C（2.7～2.4） D（2.3以下）

評価結果集計

考 察

○：よかった点 ●：課題 ◇：更なる充実に向けて

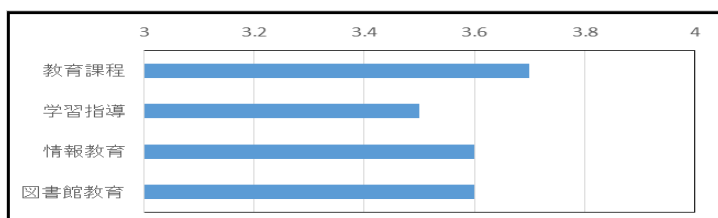
I 学校経営・運営（総合評価 A）



- 学校教育目標具現化のために、学校経営方針を意識し、すべての教職員が意欲的に教育活動に取り組んでいます。
- 第1回の学校自己評価を受け、日課表の見直しに向け、試行期間を設け、取り組んでいます。
- 児童の実態を踏まえ、全教職員で学校研究課題に取り組んでいます。
- 第1回の学校評価を受け、教職員が積極的に学校運営に関わっています。
- 教育活動全体を見通した計画的な教育計画の見直しを行っていきます。

◇学校運営の課題を共有し、次年度に向け、教育計画の検討・立案を進めていきます。

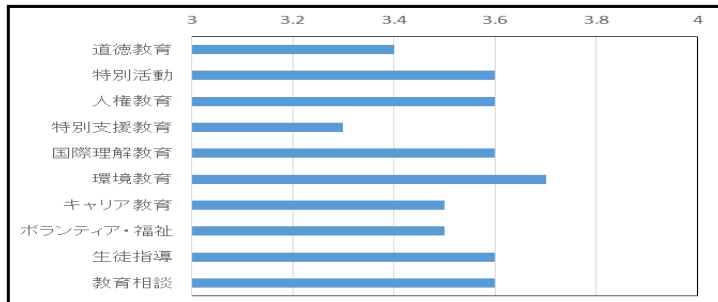
II 学ぶ力のある子（総合評価 A）



- 教育課程（授業を含む教育計画）が計画的に実施されています。
- 「深谷市学習スタンダード」の徹底や校内研修の成果を通して学習内容の定着が進んでいます。
- 図工や書写など児童が積極的に表現力を発揮しています。

◇少人数指導・TT指導、AT・ALTの活用をより工夫し、課題を明確にした授業を行うことで、一人一人の学習理解を深めます。
◇今年度の校内研修の成果を踏まえ、児童の学力向上に向け、より一層研修を進め、学習環境の整備を行っていきます。

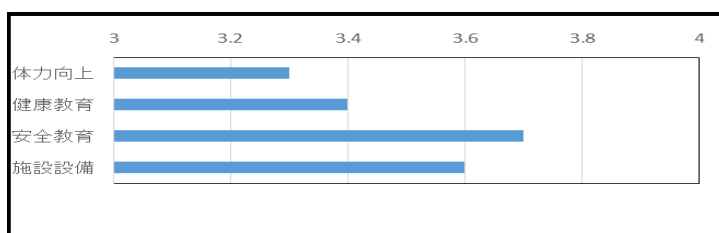
III 心の豊かな子（総合評価 A）



- 道徳の時間や特別活動の時間を計画的に実施し、相手を思いやり、理解し合える人間関係作りに努めています。
- 連絡帳、電話、教育相談日等を通し、児童のよりよき成長のための担任と保護者の話し合いが行われています。
- 巡回相談や授業研究、関係機関との連携を通して、発達障害や特別支援教育の視点に立った教育についての研修を深め、個に応じた指導を進めています。
- 第1回の学校評価を受け、キャリア教育やボランティア・福祉教育を意識した教育活動に取り組んでいます。

◇児童の人権を尊重した教育環境作り、いじめの未然防止・早期発見・早期解決や人間関係作りを積極的に取り入れた教育活動を行っていきます。
◇児童が希望を持って努力できるよう、様々な活躍の場面をつくっていきます。

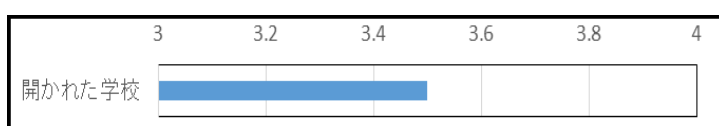
IV たくましく生きる子（総合評価 A）



- 業前運動では、雨天時には体育館で取り組んでいます。
- 教師指導による毎日の学年ごとの下校指導、月に一度の一斉下校、月4回の登校班の立哨指導等を通して登下校に対する教職員の共通理解・共通実践が図れました。
- 深谷警察署の協力をいただき、不審者侵入時の避難訓練を行いました。
- ハンカチ、ティッシュ、つめきりの3つの徹底と給食後の歯みがきの励行を進めています。
- 経年劣化した施設・設備の改修・修理を計画的に進めています。

◇施設・設備の改修・修理については、今後も教育委員会と連絡を取り合い、計画的に改善に努めていきます。

V 地域とともに（総合評価 A）



- 授業参観をはじめとして学校行事への保護者・地域の方々の積極的な参加、教育活動の様子をホームページに掲載するなどして学校の情報を伝えています。

◇学校支援地域本部をはじめとして地域の関係諸機関等との連携を図り、学校・家庭・地域が一体となって児童の健全育成に努めてまいります。
◇地震や大雨、不審者対応などについて連絡メールやホームページを活用し地域、保護者と連携を図ることで児童の安全を守っていきます。

